



第35号

発行 宮城県泉高等学校泉陽会
 泉区将監十丁目三九番一
 電話〇三三七一四二二
 印刷 創文印刷出版株式会社
 青葉区春日町八番三四



一分八間

同窓会長 桂島 晃

私は数年前より、泉高等学校の学校評議員を務めさせていただいております。生徒のために充実した教育活動を展開しようと、校長先生を中心に、教職員の叡智を結集し、様々な取組がなされています。学校評価の一つの指標にもなり得るものですが、数年にわたり国立大学の進学者が80名を超える状況が続いています。進路指導が充実してきている成果と言えます。

弓道の諺に、「一分八間(いちぶはちけん)」という言葉があります。弓道では、手元の一分の差は、的に届くと八間の違いになるといふことです(手元の3mmのくまの届くところに約14mにもなる)。

このことを進路選択に当てるには、目標を定めること、目標を定めることに、いかに多くの時間

をかけ、自分の将来や進路について深く考えなければならぬことが重要になってくると考えます。

現在、私は、宮城教育大に勤務していますが、高校1年生の段階で宮教大への入学を希望し、高校時代は部活動と両立しながら勉学に励んだという学生がいます。また、県外からも多くの学生が宮教大に入学してくるわけですが、高校1・2年生の時に、お小遣いを貯めて交通費を捻出し、オープンキャンパスに参加したという者が意外に多いことに驚いています。参加して大学の良さを直に感じることもでき、学習意欲が高まったという感想も聞かれます。

このことから、高校生活の早い時期に、将来を展望し、自ら行動し、情報収集し、目標を定め、努力し続けることが大事なのではないかと考えます。

泉高等学校では、大学及び専門学校の先生方を招聘し、大学での研究や職能開発についての講話を聞く機会を設けていると伺っています。一流の人の話を聴いたり、本物に触れることにより、夢が育まれ志が高まるものと捉えております。生徒にとってはとてもいい取組だと考えています。

泉高等学校のスクールライフデンティティ(期待する生徒像)にもあるように、「積極挑戦し未来を切り開く生徒」がますます増えることを期待しています。

後輩諸氏の活躍を同窓生一同心より祈念しています。



役員会 (7月6日出) 泉陽会館



今年四月の人事異動で、宮城県総合教育センターから赴任してまいりました。よろしくお願いたしました。同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。ご存じのように本校は、昭和四十八年四月に旧泉市に開校しました。今年で創立四十七年目を迎えます。本校の卒業生はすでに一万五千人を超えております。本校は順調に発展を遂げ、「英語科(平成七年四月新設)を有する進学校」として、地域・中学校・保護者等から高い評価を得ております。生徒達は、創立当初の伝統・校風を受け継ぎ、文武に渡って頑張り、元気に明るく楽しい高校生生活を送っています。

今年度の部活動等の活躍については、詳しくは活動報告をご覧ください。陸上競技、弓道、水泳で東北大会に出場しました。さらに、陸上競技は競歩で全国大会にも出場しました。また、放送部はアナウンス部門と朗読部門で全国大会に出場します。そして、学業面において



無限の可能性を
 伸ばして
 校長 青山 勝

も着実に力を伸ばし、卒業後の進学先等につまきましても、周囲に誇れる実績を挙げております。さて、本校では、期待する生徒像として、スクールアイデンティティ(SI)のキャッチフレーズにして「積極挑戦し未来を切り開く生徒(多様な経験から主体性を育む)」を掲げております。「積極挑戦」は、本校の校訓の一つである「明朗進取」の「進取」の概念を基にしており、生徒が自らの意思で様々な物事に取り組んでいくことを期待し、奨励する学校の姿勢を表しています。本校生の長所は「素直さ」と「真面目さ」であり、高校生活の中で様々なことに挑戦し、経験を積み重ねながら大きく成長してほしい。そして、高校卒業後も自らの力で高い志を持ち、自己の無限の可能性を伸ばし続けてほしいという願いの現れでもあります。

本校生が更なる飛躍を遂げるためにも、同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、同窓会の今後のますますのご発展を祈念申し上げます。

同窓生動向

同窓会 開催報告

「二回生」還暦クラス会

(普通科1回生/昭和51年卒) 今野 健男

昨年11月24日、3年5組のクラス会が行われ、佐藤正幸先生もお招きして20人が集まりました。懐かしい話、今の話、これからの話等3時間があっという間でした。正幸先生からは「これから健康で!!」というあり

がたいお話もいただきました。泉高校一回生で、3年5組の一員で良かったという感謝の気持ち、再確認しました。卒業して43年、私たちはこれからも泉高校を応援していきます。



佐藤正幸先生は左列後ろから4番目です

泉高校での3年間は 現在に繋がっています

(普通科14回生/平成元年卒) 門間 正哉

私は現在、高等学校向けの教科書などを刊行している教育図書出版社の株式会社桐原書店で、代表取締役社長を務めています。

私が泉高校に通っていた35年程前は、学校の前の寺岡の方向に抜ける道はまだなく、泉高校で行き止まりでした。山を切り崩したような土の壁が道を塞ぐように面していて、ソフトボールグラウンド、弓道場の方まで占有スペースのようでした。

その土の壁の一部分が、地層の隆起などが分かったりやすく見える絶好の教材だったよう、地学の授業のその単元になると、毎年、先生が生徒を連れ出し地層を見に行つて授業をしていました。ちょうど私たちのクラスが先生に連れ出された時、道路工事が始まるところで、肝心の地層が崩されており、先生が呆然とし、ひどく落胆していたのが印象に残っています。残念ながら私たちがこの代から、その生きた教材に触れることは出来なくなりました。

勉強が苦手だった私には部活や学校行事、学食、文化祭、部活帰りに自転車組がみんな立ち寄った駄菓子屋など、高校生活は楽しかったことばかりでした。当時は球技大会が年に2回あり、球技が好きだった私にはとても楽しみな行事でした。社会に出て高校時代を振り返ると、先生方とのちよっとしたこと、先生方に出すことが多くあります。

とても個人的な先生が多く

(詳細は省きますが、)当時の私はどちらかと言うと斜に構え、あまり先生と接することをしなかったのですが、今思えば、もっと先生方といろいろな事を話せたら良かったなあと思います。社会に出た今、役に立つことを伺えたのではないかとともに感じます。現役生のみならずは、まだ間に合いますね。

個人的な先生方や気の合う友人達に恵まれ、私は幸運にも充実した3年間を過ごすことが出来ました。そのおかげで「学校」という場がとても好きになり、自分の将来の目指す方向が「教育に関する仕事」に向いて来たのだと思います。

進学した東北学院大学では教員免許も取得し、教員採用試験は不合格に終わりましたが、卒業後は首都圏に展開している中堅の学習塾に就職しました。

あまり勉強をしなくなりました。私は、予想通り勉強不足を全身で感じ、書店に並ぶ参考書や問題集を買い漁り、必死に解きまわりました。そこで出会ったのが桐原書店の本でした。

その後、縁あって桐原書店に中途入社して約20年、現在に至ります。

桐原書店は私の憧れの会社でしたので、入社が決まった時は飛び上がるほど嬉しかったことを覚えておきます。入社後は営業部門からスタートし、マーケティング、管理、経営企画と様々な部署を経験させていただきました。現在は、代表を務めておりますので、取締役会の運営や

経営計画の策定と実行などが主な仕事です。桐原書店の開発したコンテンツが学習者の心に残り、何かの変化をもたらすきっかけになればと日々取り組んでおります。

今、私がやり甲斐のある仕事をさせていたただいているのも、泉高校での3年間の大きな影響を受けていると思います。高校時代には想像も出来なかった現在ですが、同じようにこれから先の未来も想像が付きませ

振り返ると、多くの人の出会いや出来事を経験し、たくさん影響を受けて来ました。尊敬できる人、気の合う人、合わない人、楽しいこと、辛いこと、挙げればキリがないほどたくさんありますが、一見マインナスに思えることも、実は経験として積み重なり、今の自分を形成しているのだと思います。「経験は絶対値で積み上がる」ということです。そう考えると、嫌なことでも前向きに考えて行動が出来るようになります。

まだまだ未熟者ではありますが、社会に役に立てる人間に、社会に不可欠な企業になれるように努力を続けてまいります。

泉高校の今後のさらなる活躍、発展を祈念しつつ、OBとして応援し続けてまいります。



桐原書店社長を務める門間さん

いま、司法・犯罪系の仕事に携わっています

（英語科16回生／平成25年卒）青木 千景

●大学時代

高校卒業後、東北大学教育学部に入学しました。高校の倫理の授業の影響があり、ジェンダー教育を学びたいと思ったことがきっかけです。また、東北大学の教育学部は教育学のコースと心理学のコースがあり、教育学を学びつつ心理についても学べばという気持ちでいました。学部生時代はカナダに短期留学をしたり、陸上部に所属していたので、遠征で様々な地方に行ったりと楽しい大学生活を送っていました。講義を受けているうちに心理学では、研究と臨床的に実際に心理的な悩みを抱えている人と対峙しながら、体感的に援助と学びができること惹かれ、心理学を選択をしました。

●大学院時代

2年間という短期間でしたが、非常に充実した2年間でした。趣味がマラソンだったので、仙台ハーフマラソンに出場したご縁で、仙台市さんの交流都市であるダラス市で行われるマラソン大会にも出場させていただきました。

大学院時代に心理の国家資格試験が始まりました。今まで臨床心理士という資格はあったのですが、国家資格ではないため大学・大学院で心理学を学んでも専門性を生かした就職は難しい印象がありました。国家資格になったことで幅広い領域で心理の専門性が求められることになると思います。私も今年の8



2017年ダラスマラソンにて

月公認心理師、10月に臨床心理士の試験を受験します。泉高校の卒業生としていいご報告ができるよう頑張りたいと思います！

一番大学院時代の大きな出来事は修士論文です。修士論文はもともとジェンダーに興味もあり、関連する領域を研究したいという思いと、ライフ・ワーク・バランスというように、男女ともに円滑に仕事と家庭の両立ができる社会に貢献したいと考え、「夫婦における家事の役割分担の判断基準と満足感との関連性」に着目して、「というタイプのもとも、夫婦双方の割合がどういったら夫婦双方にとって満足していく形になるのか研究していました。保育所に

協力依頼をしたりと苦勞の多い研究でしたが、研究の面白さを改めて実感させられました。

●社会人になって

心理学の専門性を活かす選択肢としては、病院や児童相談所など様々ありますが、私は研究も生かしながら政策にも携わりたいという思いもあつたことから、人間科学系（心理や社会学、教育学、福祉学で受験する区分です）の国家公務員の総合職を選択しました。現在、希望通り国家公務員の総合職として司法・犯罪系の仕事に携わっています。司法・犯罪系に進んだ理由としてはシブブルに、なぜ人は罪を犯すのかという知的探求心が大きかったと思います。皆さんにとってはなじみのない世界だと思いますが、日々学びの毎日です。今はまだ研修生としていろいろな研修をさせていただいている身ですが、日本社会に貢献できるよう頑張りたいと思います！

まだまだひよっこ

日々成長しています

（普通科41回生／平成28年卒）乳井 憂季

私は高校卒業後、義肢装具士を目指し、埼玉県にある国立障害者リハビリテーションセンター学校に進学しました。義肢装具士は切断された方の第二の手足となる義肢、病気によって失われてしまった身体機能の補助や、変形の予防に使用される器具の製作と適合を行います。あまり知られていない職業ですが、義肢装具士は患者様に直接触れるため医師や看護師と同じく国家資格で医療職です。

私の通った学校は義肢装具士養成のために初めてできた、国立の3年制の専門学校です。授業は実習と座学があり、とにかく学校は厳しかったです。実習は金属を曲げたりプラスチックを削ったりと、初めて行うことが多く、実習の日は遅くまで学校に残ることも多かったです。座学は義肢装具の専門科目はもちろん、病理学や整形外科学などの医学科目に加え、材料力学などの工学・理系科目など幅広い知識を必要とされるため、日々勉強の毎日でした。その他にも、社会人になった時に即戦力になれるよう、社会人として必要なマナーや心構えも多く指導していただきました。卒業するまでの3年間で何度も叱られる、様々な面から厳しく指導していただきました。今まで生きてきた中でこんなに怒られることはなかったです。七転び八起き、学生生活を送ってきましていただいたおかげで、多くの面で一回りも二回りも成長できた

感じています。

そして、今年の春から社会人として山形の義肢装具会社に就職しました。現在は主に会社で様々な器具の製作を行い、時折先輩方について病院同行を行っていますが、毎日新しい発見が多くとても楽しいです。今は社会人としてまだまだひよっこですが、今まで学んだことの他に、臨床の現



専門学校卒業式にて 右側が乳井さん

場独自の知識を身につけ、少しずつでも成長できるよう、私なりに日々努力しています。



Facebook 開設しました

＜お知らせ＞

令和元年7月、同窓会役員会で話し合わせ、Facebook上に『宮城県泉高等学校同窓会 泉陽会』グループを立ち上げることにになりました。ぜひご覧ください。

NEWS

国公立大学合格者数	
大学名	合格者数
弘前大	1
岩手大	9
東北大	2
宮城教育大	7
秋田大	1
山形大	18
福島大	3
電気通信大	1
東京外大	1
新潟大	1
富山大	1
岩手県立大	2
宮城大	25
秋田公立美大	1
国際教養大	1
山形県米沢栄大	1
山形保健医療大	2
高崎大	1
埼玉県立大	1
横浜国立大	1
都留文科大学	3
神戸市外大	1
合計(のべ)	84

私立大学合格者数	
大学名	合格者数
酪農学園大	1
石巻専修大	1
仙台大	1
東北学院大	134
東北工大	36
東北福祉大	54
東北医薬大	3
宮城学院女子大	53
仙台白百合女大	8
東北文化学園大	4
尚絅学院大	7
東北芸術工大	7
つくば国際大	1
国際医療福祉大	1

獨協大	1
日本医療科学大	1
城西国際大	1
千葉工大	1
亜細亜大	1
学習院大	1
北里大	2
駒澤大	1
芝浦工大	6
昭和女子大	2
大東文化大	2
玉川大	1
中央大	8
東海大	1
東京経大	1
東京工科大	1
東洋大	1
日本大	7
日本社会事業大	2
法政大	3
東京都市大	2
明治大	1
明治学院大	5
立教大	1
テンプル大	1
神奈川大	3
東京工芸大	1
フェリス女大	1
新潟医療福祉大	1
立命館大	1
京都医療科学大	1
関西外大	1
神戸学院大	1
合計(のべ)	375

短期大学合格者数	
短大名	合格者数
山形県米沢女短	10
仙台青葉学院短	1
仙台赤門短	3
創価女短	1
合計(のべ)	15

専門学校合格者数	
校名	合格者数
栃木衛生福祉大	1
仙台医療福祉専	1
仙台湾州会	1
仙台医療附助	14
東北労災看護専	5
合計(のべ)	22

一般専門学校合格者数	
校名	合格者数
仙台ウエディング&ブライダル専門学校	1
東北動物看護学院	1
仙台大原簿記公務員専門学校	2
宮城調理師製菓専門学校	1
ヤマビアソテックアカデミー	1
東京アカデミー-仙台校	1
東京法律専門学校仙台校	1
仙台理容美容専門学校	1
東北外語観光専	1
合計(のべ)	10

就職者数	
校名	合格者数
宮城県警	1
宮城県職員	1
国土交通省東北運輸局	1
宮城県職員学校事務職	1
海上自衛隊	1
リムズ株式会社	1
有限会社 エル美容商事	1
合計	7

積極果敢！ 最後まで粘り強く 進路指導部

左の表は今春の卒業生の大学等の合格状況です。スクールアイデンティティである「積極挑戦」のもと、進路においても、自ら積極果敢に自らの進路実現に取り組むよう指導しています。

国公立大学については、今年度は東北大学2名を含む、84名の合格者を出しました。ここ数年の中では一番多い合格者数です。多くの生徒たちが、最後まで粘り強く受験に取り組んだことが、いい結果につながったのだと思います。

本校では生徒の進路意識を高めるため、1年生においては東北大学のオープンキャンパスへの参加、2年生においては、夢ナビライブへの参加を予定しています。また、3年生については、通年での課外授業を行い、生徒の学力の底上げを図っています。

泉高校の進路実績に対しては、本校を目指す生徒や保護者から注目されているところです。卒業生の方々のお力添えをいただきながら、さらなる躍進を遂げていきたいと思っております。

部活動 報告 高校総体 おもな結果

- サッカー部** 1回戦 泉0-7石巻工業
- 陸上競技部** 男子4×400mR 5位 (進藤、大場、鈴木、佐々木) ↓東北大会準決勝進出
- 男子バレーボール部** 1回戦 泉0-2仙台
- 女子バレーボール部** 1回戦 泉0-2仙台
- 男子バドミントン部** 1回戦 泉3-2塩釜
- 女子バドミントン部** 1回戦 泉3-0蔵王
- 男子バスケットボール部** 1次リーグ 泉48-104仙台二
- 女子バスケットボール部** 1回戦 泉57-80松山
- 男子卓球部** 団体戦 1回戦 泉1-3塩釜
- 女子卓球部** シングルス 佐藤未怜(対聖和) 2回戦敗退
- 新体操部** 団体戦 8位
- 男子ソフトテニス部** 2回戦 泉3-0登米総合
- 女子ソフトテニス部** 1回戦 泉1-2石巻西
- 男子硬式テニス部** 1回戦 泉0-2名取北
- 女子硬式テニス部** 1回戦 泉2-1仙台南
- 弓道部** 4位・射道優秀 2位
- 男子個人** 準決勝敗退・射道優秀
- 女子個人** 準決勝敗退・射道優秀

◆放送部

アナウンス部門 出場
2年 佐藤桃子
3年 平 瑞帆

泉三校定期戦

(4月26日)
総合得点46点 第二位
*優勝 泉館山 総合得点63点

●硬式野球部

第四回全国高等学校野球選手権宮城大会
1回戦 ○ 8-4 涌谷(延長10回)
2回戦 ● 2-5 古川黎明

●吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール第62回宮城大会予選仙台音楽・泉地区大会
高等学校の部 金賞
全日本吹奏楽コンクール予選第62回高等学校の部 銀賞

●文化部

●放送部(NHK杯全国高校放送コンテスト県大会)
テラス部門 最優秀賞 3年 佐藤桃子
アナウンス部門 優秀賞 3年 菅原歩佳
↓全国大会出場
↓全国大会出場

女子水泳

400m個人メドレー 6位
↓東北大会出場

剣道部

男子団体 泉0-4石巻西
女子団体 泉2-0富谷(予選リーグ敗退)
泉0-4佐沼(予選リーグ敗退)
泉1-2仙台南(予選リーグ敗退)



東北総体表彰式にて

インターハイで 勝負してきます

陸上競技部2年 芳賀 崇斗
今回男子5000m競歩でインターハイ出場を決めることができました。いつも同窓生の方にはサポートや応援をしていただいております。中学校では、長距離でしたが、高校に入り競歩に転向しました。転向した当初は、こんなにも難しい競技だと思ってもみませんでした。競歩には、2つの歩き方のルールがあり、それに違反してしまうと失格しゴールできないシビアな競技です。私は、何度もドキドキしながらゴールすることがあります。そのたびに、自分のフォームを見つめ直し、よりよいものに作り変えていこうと懸命に努力しました。動画を撮ってもらい改善点を洗い出し、その点を意識しながら納得するまで練習を繰り返しています。改善策が見つからなかった場合は先生たちからアドバイスを頂き、客観的な視点から自分を見つめるいい機会になります。今シーズンは、なかなかタイムが出ず苦しい時期が長かったです。が、徹底して問題点を探し、あきらめず練習したことで東北総体では30秒以上自己ベストを更新することができました。しかし、私としては、まだまだ伸びしろがあると思っていますので、インターハイでは気持ちで負けずに勝負していきます。応援よろしくお願致します。

事務局より

今年度の事務局は、内海渉氏が担当します。よろしくお願いたします。
同期会の開催や同窓生の活躍など、会報やホームページで紹介したい記事がございましたらお気軽にご連絡下さい。

泉陽会事務局 泉高校総務部 〒981-3132 仙台市泉区将監10丁目39番1号 TEL 022-372-4111 FAX 022-372-4128
ホームページURL <https://izumihigh.myswan.ed.jp>

泉高校近況